

平成23年12月2日

1. 出席議員

1 番	中 村	一 堯	9 番	光 武	学
2 番	稲 富	雅 和	10 番	徳 村	博 紀
3 番	勝 屋	弘 貞	11 番	福 井	正
4 番	竹 下	勇	12 番	水 頭	喜 弘
5 番	角 田	一 美	13 番	橋 爪	敏
6 番	伊 東	茂	14 番	松 尾	征 子
7 番	松 尾	勝 利	15 番	橋 川	宏 彰
8 番	松 本	末 治	16 番	中 西	裕 司

2. 欠席議員

な し

3. 本会議に出席した事務局職員

事 務 局 長	谷 口	秀 男
局 長 補 佐	下 村	浩 信
管 理 係 長	西 村	正 久

4. 地方自治法第121条により出席した者

市	長	樋	口	久	俊
副	市長	北	村	和	博
教	育	小	野	原	利
総	務	藤	田	洋	一郎
市	民	迎		和	泉
産	業	中	川		宏
建	設	平	石	和	弘
会	計	中	村	博	之
管	理	打	上	俊	雄
兼	課	大	代	昌	浩
企	画	寺	山	靖	久
総	務	田	中	一	枝
課	長	中	村	和	典
財	政	橋	村		勉
市	民	栗	林	雅	彦
課	長	森	田	利	明
兼	選	橋	口		浩
管	理	有	森	滋	樹
委	員	森	田		博
会	事	福	岡	俊	剛
務	局	松	本	理	一郎
長		中	島		剛
税	務	土	井	正	昭
課	長	中	村	信	昭
福	祉	松	浦		勉
事	務	監	査	治	彦
務	所		委		
課	長		員		
保	險				
健	康				
課	長				
農	林				
水	産				
課	長				
農	林				
水	産				
課	参				
事					
商	工				
観	光				
課	長				
ま	ち				
な	み				
建	設				
課	長				
環	境				
下	水				
道	課				
課	長				
水	道				
課	長				
教	育				
次	長				
兼	教				
育	総				
務	課				
課	長				
生	涯				
学	習				
課	長				
兼	中				
央	公				
民	館				
長					
同	和				
対	策				
課	長				
兼	生				
涯	学				
習	課				
参	事				
農	業				
委	員				
会	事				
務	局				
長					
監	査				
委	員				

平成23年12月2日（金）議事日程

開会・開議（午前10時）

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案の一括上程（市長の提案理由説明）
-

午前10時 開会

○議長（中西裕司君）

おはようございます。ただいまから平成23年鹿島市議会12月議会を開会いたします。
直ちに本日の会議を開きます。

日程は、お手元の日程どおりといたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（中西裕司君）

まず、日程第1．会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、13番橋爪敏君、14番松尾征子君、15番橋川宏彰君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（中西裕司君）

次に、日程第2．会期の決定を議題といたします。

今期定例会の会期は、お手元の会期日程（案）のとおり、本日12月2日から22日までの21日間といたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西裕司君）

御異議ないものと認めます。よって、会期は21日間と決定いたしました。

この際、事務局長をして諸般の報告をいたさせます。谷口事務局長。

○議会事務局長（谷口秀男君）

諸般の報告をいたします。

本日招集の12月定例会に市長から議案10件の提出がっております。議案番号及び議案名は、お手元に配付しております議案書の目次に記載のとおりでございます。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第3 議案の一括上程（市長の提案理由説明）

○議長（中西裕司君）

次に、日程第3．議案の一括上程であります。

議案第50号から議案第59号までの10議案を一括して上程いたします。

市長の提案理由の説明を求めます。樋口市長。

○市長（樋口久俊君）

皆さんおはようございます。本日、ここに平成23年12月市議会定例会を招集し、諸案件につきまして御審議をお願いするものでございますが、議案の提案に先立ちまして、鹿島市を取り巻きます最近の情勢について申し上げます。

平成23年は、まだ1カ月ほど残っておりますが、今議会が本年最後の議会となりますので、この1年間を簡単に振り返ってみたいと思います。

何といたしましても、このところ、いろんなマスコミなんかでも取り上げられておりますけれども、一番最初に思い出されますのは3月における東日本の大震災と引き続く原子力発電所の事故が思い出されるわけでございます。

大変な出来事であったということは改めて申し上げるまでもございませんが、その後におけます復興の作業を見ておきますと、必ずしも順調に進んでいるとは思えないのが気がかりでございます。

また、例年のない豪雨で各地において河川のはんらん、地すべりの被害などが起こりまして、私たちも決して人ごとではないとの感覚を抱かされたところでございます。

このような状況を踏まえますと、私たち人間が自然と共生をし、調和しながら生きているのだという、そういうことを改めて確認をさせられると、そういう契機になったとも言えます。

さらに、政治経済の分野に目を向けますと、これまで経験をしたことがないほどの円高、株安等々の基調のもとで、野田首相から環太平洋経済連携協定、いわゆるTPPの協議に参加するとの意思表示がなされるなど、いろんな意味で先行きには不透明さが増しておりました。対応しなければならぬ課題が続々と発生をしております。

私たちには、さまざまな角度からいろんな情報を収集、整理して、進むべき方向を見きわめ、必要な対応におくれをとらないことが求められております。

そのためには、関係者が一丸となって総力戦で臨むことが大切であるわけですし、議会の皆様はもちろん、市民の皆様により一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

次に、肥前鹿島駅のバリアフリー化整備事業について申し上げます。

第五次総合計画で掲げております「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」、その実現に向けた施策の一つであります肥前鹿島駅の改修と駅前の整備につきましましては、国や県、JR九州と連携して段階的に整備を図っていくことにいたしております。

その中で、現在の肥前鹿島駅は、昭和5年11月に開業した後、幾たびかの改修が行われてはおりますけれども、構造上の安全面や使い勝手の面から、高齢の方々や障害を帯びておら

れる方々にとりましては、必ずしも利用しやすい環境とは言えないという状況になっております。私が市長に就任をしてからの懸案事項でもございましたので、就任後間もなく、国や県、そして、JR九州と協議を重ねてきたところでございます。

その結果、まずは肥前鹿島駅のバリアフリー化整備事業に取り組むことになりまして、今月下旬に駅の改修工事に着手し、工事が始まるという計画になっております。

この事業は、JR九州が事業主体となりまして、国の補助事業を活用した総事業費247,000千円の事業で、ホームにエレベーターをつけたり、階段をつけかえるというようなことをいたしますとともに、現在は多くの皆さんが難儀をしておられます車両とホームとの段差の解消ということでホームのかさ上げを行うというものでございます。

工事完了は、一応来年の3月末の予定となっておりますが、御承知のとおり、肥前鹿島駅は1面2線路のいわゆる島式ホームと呼ばれるものでございまして、大がかりな工事になることが想定をされておまして、また、列車を運行しながらの工事となりますので、無事に予定どおりに進むということを期待しているところでございます。

さらには、工事に伴いまして、現在の市営駅前駐車場につきましては、出入り口を移設しまして、また、駐輪場につきましても、仮設の場所を設けるということになりますので、しばらくの間、市民の皆様には大層御不便をおかけいたしますが、何とぞ御了承くださるようお願い申し上げます。

いずれにしても、肥前鹿島駅は市の玄関口であり、市の顔とも言うべき場所でございますので、御利用いただく皆様にとりまして、安全で利便性が高まるというように整備をしてまいりたいと考えております。

次に、市民連携型のまちづくり事業の「まちづくり懇話会」と「市民政策提案制度」の現在の状況について御報告申し上げます。

10月から実施をいたしております、これらの事業は、市民の皆様から鹿島市のまちづくりに関する御意見や御提言をいただくということで、市民の皆様のニーズを把握するとともに、政策形成の参考にさせていただくというものでございます。

「まちづくり懇話会」につきましては、10月31日に第1回を開催し、市としてのまちづくりの考え方や第五次総合計画、第二次行財政改革などの説明を行いまして、今後の懇話会の進め方について御協議をいただきました。

第2回目は、つい先日、11月28日に開催をいたしまして、具体的なテーマとして「肥前鹿島駅の整備」について御熱心な御議論をしていただき、建設的な御意見をちょうだいしたところでございます。これからも毎月1回というペースで開催をして、今後の市政運営の重要な課題について御意見を伺ってまいりたいと考えております。

また、「市民政策提案制度」につきましては、10月を一応集中受け付け期間として提案を募集いたしました。

具体的な政策提案の仕組みをつくることにより、市民の皆様にも積極的にまちづくりに参加をしていただくということを目的としておりますが、これまで「鹿島のまちづくり」に対する思いのこもった8件ほどのアイデアを御提案いただいております。

今後、庁内での検討を行い、事業化できるものについては具体化をさせていきたいと考えております。

この「市民政策提案制度」は、今後も随時受け付けておりますので、どうか積極的にアイデアなどをお寄せいただきましたら幸いです。

次に、ふるさとの歴史・文化を生かしたまちづくりについて申し上げます。

「まち」には、その「まち」にしかない自然、歴史、伝統、文化など地域固有の資源があることは申すまでもありません。

これらは、全く過去のものということではございませんで、過去から現在、そして、次の世代まで受け継いでいかなければならないものでありまして、鹿島というまちを形づくっている大切な地域資源であると考えております。

これら地域にあるものを知り、そして伝え、いかに生かしていくかがまちづくりの大きな視点として必要があると考えております。

その意味におきまして、去る11月5日、6日にかけて開催をいたしました「伊能忠敬来鹿200年記念事業イベント」や「肥前浜宿重要伝統的建造物群保存地区選定5周年記念事業」では、皆様方に鹿島の歴史や文化を再認識していただくよい機会となりました。

「伊能忠敬来鹿200年記念事業イベント」では、古川知事を初め、鹿島市とゆかりのある千葉県香取市の宇井市長においでいただきまして、「歴史・文化を生かしたまちづくり」についての座談会などを行い、来年予定をいたしております「伊能忠敬来鹿200年記念事業」に向けて、その機運が盛り上がったところでございます。

御承知のとおり、伊能忠敬の出身地でございます現在の香取市佐原は、かつて鹿島鍋島藩の領地があったところでございまして、現在も初代鹿島藩主鍋島忠茂公が祭られていることから、歴史的にも鹿島とのつながりが深いところでございます。

これを契機に、時空を超えたきずなとも言える香取市と、私どものまち、さらに交流を深めてまいりたいと考えております。

「肥前浜宿重要伝統的建造物群保存地区選定5周年記念事業」では、防災をテーマとした講演やシンポジウムなどを行い、歴史的な町並みを災害から守るための方策について、ほかの地域の事例を紹介してもらったり、有識者の方から助言をいただくなど、大変有意義なものであったと感じております。

今回のイベントに携わっていただきました地元住民を初めとするスタッフの皆様には感謝申し上げますとともに、これからもあらゆる機会をとらえて鹿島の歴史や文化資源を生かしたまちづくりを推進し、交流人口の拡大を図ってまいりたい所存でございます。

次に、スポーツ資源を生かしたまちづくりについて申し上げます。

鹿島市には、本年2月に開催をされました「第60回記念公認鹿島祐徳ロードレース」の際にお越しいただきました関東学生陸上競技連盟の関係者に高い評価を受けました陸上競技場やクロスカントリーコースを初め、豊かな自然に囲まれたスポーツ施設がありまして、多くの市内外の方々に御利用をいただいているところでございます。

市といたしましては、このスポーツ資源を有効に活用し、施設利用とともに、市内に宿泊していただく「スポーツ合宿」に積極的に取り組み、交流人口の拡大、地域活性化などにつながるのと同時に、選手との交流により本市スポーツ振興、青少年の育成を図りたいと考えているところでございます。

合宿の誘致に当たりましては、宿泊費などの一部を助成する「鹿島市スポーツ合宿誘致事業交付金」を新たに創設いたします。

市民の皆様の温かいおもてなしと新たな制度によりまして、鹿島市で合宿をした選手が「鹿島で合宿してよかった」、「また鹿島で合宿をしたい」と、そういうふうに使っていただく「スポーツ合宿」を継続的かつ効果的なものになりたいと考えているところでございます。

将来、佐賀県鹿島市がスポーツ合宿のメッカとなることを目指して取り組んでまいりますので、市民の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

次に、住宅リフォーム助成制度について申し上げます。

県内の各市町におきまして、10月20日から地域経済の活性化と住まいの安全・安心の確保及び質の向上を目的とした「佐賀県住宅リフォーム緊急助成制度」の受け付けが開始をされました。

鹿島市におきましては、この県の制度の実施に先行する形で既に今年4月から地域経済活性化を目的とする「住宅改修工事補助事業」をスタートしておりました。

この事業について、さきの9月定例会におきまして、議員の皆様のお理解を得て、今回の県の助成制度の開始に合わせ、さらに一層の市の補助対象要件を大幅に拡大いたしましたところでございます。リフォームを希望されます市民の皆様にとりましては、県と市の制度を併用できる大変利用しやすい制度に改定をされております。

この新制度につきましては、市民の皆様からの反響が思いのほか大きく、受け付け開始と同時に申し込みが殺到いたしまして、想定をいたしておりました件数、規模を大きく上回る数の御相談をいただいておりますことから、今回の定例会の補正予算の議案の中で、改めて事業費の増額を計上させていただいております。

市といたしましては、この住宅リフォームを契機に、住環境の整備が進むことに加えて、地域経済の活性化、これが進むことを期待しているところでございます。

最後に、ノリ共同乾燥施設の整備について申し上げます。

近年、有明海のノリ養殖は、養殖技術の進歩によりまして生産枚数は順調に推移をいたし

ておりますが、一方で、大規模かつ長期的な赤潮、あるいは赤腐れ病が発生する、その色落ちなど品質低下に配慮をする必要がございます。

特に本年は、既に御承知のように、11月に入りまして高水温が続いておりまして、また、雨の影響も加わりまして、赤腐れ病が県沖の有明海全域に広がっております。

先週末に私自身も海へ出てまいりまして、その現場を見てまいりましたが、予想どおりの被害状況で今後の帰趨が心配をされているというところがございます。

そのような中で、ノリ養殖業を営まれている方々には、さらなるコスト削減や品質向上などが求められておりまして、ノリ養殖の協業化ということが県内でも進められているということがございます。

鹿島市におきましては、市内の協業率が約37%と県内のほかの市町と比較をいたしまして、低いほうの状況にあると。そういう中で、漁業経営の安定を図るというためには、この協業率の向上が欠かせないというものになっております。

今回、佐賀県有明海漁業協同組合が事業主体となりまして、補助事業を活用して北鹿島の百貫漁港区域内で毎時1万枚の生産能力を有する大型のノリ乾燥機を2基備えたノリ共同乾燥施設の整備を行うという予定になっております。

補助事業に関する予算につきましては、後ほど御審議をいただくわけですが、このノリ共同乾燥施設の整備がなされれば、ノリの品質向上や生産枚数の増加が見込まれ、鹿島市の漁業振興に大きく寄与するものと期待をしているところでございます。

以上、12月市議会定例会の開会に当たり、鹿島市を取り巻きます最近の情勢について申し上げます。今後とも、議会の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

それでは、提案をいたしました案件について、その概要を説明いたします。議案は、条例改正が4件、補正予算が4件、さらには辺地総合整備計画の変更、指定管理に関する議案が2件、合計で10件でございます。

まず初めに、条例改正に関する議案について申し上げます。

議案第50号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例、それから、議案第51号 鹿島市税条例等の一部を改正する条例、そして、議案第52号 鹿島市スポーツ振興審議会条例及び鹿島市特別職の職員で非常勤のものの報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例についてでございますが、これらはいずれも上位法の改正などに伴いまして、条例の中に用いられております用語の修正など所要の改正をいたすものでございます。

次に、議案第53号 鹿島市乳幼児及び児童の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について申し上げます。

これは、平成24年4月1日から子供の医療費を助成する方法につきまして、現物給付を行う年齢を拡大し、さらには定住促進対策の一環として、小学生の医療費助成の内容を充実す

るなど、子供の医療費助成制度につきまして、その一部を改定いたすものでございます。

続きまして、補正予算に関する議案について申し上げます。

まず、議案第54号 平成23年度鹿島市一般会計補正予算（第5号）について申し上げます。

今回の補正は、スポーツ振興や観光客誘致に関する新規事業の追加を初め、事業確定に伴う経費の増減などについて計上いたしてありまして、予算の総額に542,416千円を追加して、補正後の総額を13,302,960千円といたすものでございます。

歳入につきましては、普通交付税や事業の確定、追加などに伴う国県支出金、負担金を計上するとともに繰入金を増額計上いたしてあります。

歳出のうち、主な新規事業として農林水産業費では、ノリ共同乾燥施設の整備を行います赤潮対策施設整備事業を、商工費では、鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会の発足に伴う観光客誘致対策事業を計上いたしてあります。また、教育費では、市外スポーツ団体合宿誘致事業や鹿島城址周辺の歴史的景観を守る整備事業を新規に計上いたしてあります。

新規事業以外に主なものとしまして、総務費では地上デジタル放送受信対策事業県補助金分について、減債基金への積み立てを行っております。また、民生費では、障害者施設給付費や保育所運営事業費、生活保護費を、そして、土木費では、緊急経済対策住宅改修事業を増額計上いたしてあります。

さらには、株式会社ダック様から青少年教育活動のため、そして、東亜工機株式会社様からスポーツ振興のため、それぞれ御寄附をいただきましたので、御寄附の趣旨に従い、有効に活用させていただくことといたしてあります。

次に、議案第55号 平成23年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について申し上げます。

主なものとしましては、社会資本整備総合交付金の確定に伴う事業計画の変更に伴いまして、歳入におきましては国庫支出金を、歳出におきましては建設事業費をそれぞれ減額いたしてあります。

次に、議案第56号 平成23年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について申し上げます。

主なものとしましては、退職被保険者の療養費を増額計上し、平成22年度に交付をされた特定健診等国庫負担金が精算の結果、超過交付となったため、その償還金を計上いたしてあります。

次に、議案第57号 平成23年度鹿島市水道事業会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正は、職員手当の増額などに伴いまして、事業費の一部を増減いたすものでございます。

続きまして、条例改正や補正予算以外に関する議案について申し上げます。

議案第58号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更についてでございますが、これは広平辺地に係る公共的施設の整備促進を図るため、既存の総合整備計画の一部を変更いたすものでございます。

最後に、議案第59号 鹿島市自然の館の指定管理者の指定について申し上げます。

公の施設でございます鹿島市自然の館につきましては、平成16年7月1日から指定管理者制度を導入いたしておりますが、平成24年4月1日からも引き続き、指定管理者の仕組みによって管理をお願いしたいということで提案をいたすものでございます。

以上、提案をいたしました議案の概要について御説明いたしましたが、詳細につきましては、御審議の際に担当の部長または課長が御説明をいたしますので、よろしく御審議をいただきますようお願いを申し上げます。

以上でございます。

○議長（中西裕司君）

以上で本日の日程は終了いたしました。

明3日から7日までの5日間は休会とし、次の会議は12月8日午前10時から開き、議案審議を行います。

本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午前10時32分 散会